ぜんさいしよう

No.142
2026.7.10

なんだ、これ？

「なんていう虫かなあ。」
「葉っぱの音？」
自然は子どもたちの好奇心を
掻き立てる最高の教材。
豊かな環境の中で友達と、
時には一人で、
五感を研ぎ澄ませる
子どもたちです。

良い先生でなくていい

松尾　創
全埼玉私立幼稚園連合会 会長

新年度。毎年同じ光景のようでいて、実は毎年まったく違う春。子どもたちも違えば、保護者も違う。そして何より、私たちを取り巻く社会そのものが、大きく変わっています。

最近、生成AIや動画配信、SNSの進化を見ていると、「人間の仕事はこれからどうなるのか」と、不安になるほどのスピードを感じます。文章を書く、絵を描く、翻訳する、計算する。かつて“専門職”と言われた仕事まで、機械が驚くほど上手にこなす時代になりました。

しかし、その一方で、絶対に機械では代われない仕事があります。私は、それが幼児教育だと思っています。

転んで泣いた子に、そっと手を差し伸べる瞬間。友達とけんかをした子が、「ごめんね」を言えるまで待つ時間。運動会で、保護者より先に涙をこらえている先生の姿。これらは、マニュアルでもデータでもありません。人が人を育てる、極めて“人間的”な営みです。

だから私は、これからの時代ほど、幼稚園・こども園の先生という仕事の価値は高まると思っています。

一方で、現場は決して楽ではありません。人手不足、物価高、保護者対応、…。しかも、子どもたちは待ってくれません。「今日は疲れているので、子どもたちは明日にします」というわけにはいかない仕事です。だからこそ、現場の先生方には、まず自分自身を大切にしてほしいと思います。

“良い先生”になろうとしすぎなくていい。完璧でなくていい。大切なのは、「子どもの前に立ち続けること」だと思います。

実際、子どもたちは、先生の完璧さではなく、“本気”を見ています。うまくいかなかった日も、一緒に笑ってくれた先生のことを、子どもは案外よく覚えています。

今年、関東地区の教職員大会が大宮で開催されます。埼玉が開催地となることを、大変うれしく思っています。全国から集まる先生方に、「埼玉の幼児教育は熱い」と感じてもらえる大会にしたいと思います。

幼児教育は、結果がすぐには見えません。しかし十年後、二十年後、その子が誰かに優しくできた時、「あの園で育った時間」が、きっと土台になっています。私たちの仕事は、“未来そのもの”を作る仕事です。共に歩んでまいりましょう。

全埼私幼
公益社団法人 全埼玉私立幼稚園連合会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-13-21 私学会館新館
TEL 048(866)5000 FAX 048(866)7551
発行人　松尾　創
http://www.youchien.ed.jp

第14回 通常総会・懇親会

令和８年６月３日、ロイヤルパインズホテル浦和において、第14回通常総会及び懇親会が開催されました。

台風６号の影響が心配される中での開会となりましたが、若山副会長の開会の言葉に続き、「はばたけ小さないのち」を斉唱し、松尾会長から嵐の中での参加に対する深い感謝の意が述べられました。続いて、かなやま幼稚園理事長であり埼玉県議会議員 小川直志様から祝辞が述べられました。

その後、新和幼稚園石井幸男先生と認定こども園清泉幼稚園 本橋克展先生が議長に選出され、以下の各議事について慎重審議が行われ、全議案が可決承認されました。

第１号議案　令和７年度事業報告承認の件
第２号議案　令和７年度決算報告及び監査報告承認の件
第３号議案　定款改正案承認の件
第４号議案　任期満了に伴う理事・監事選任案承認の件

全ての議事が終了した後、松尾会長が改めて登壇し次回理事会で正式に次期会長に就任予定であることを前置きし、これまでの２年間の運営に対する会員園の皆様や役員の方々への感謝を述べ、少子化や人材確保など厳しい環境の中ひき続き団体としての交渉力や発信力を重視し、会員園に貢献していきたいとあいさつがありました。また、新任の外部理事として植木雄二氏を紹介しました。

続いて、副会長に予定されている４名と専務理事が、会長を支え会員と子どもたちのために力を尽くすとの、あいさつがありました。次に続いて、壇上

にて退任する役員への感謝状贈呈式が行われました。

総会終了後に懇親会が開催され、開会あいさつに続き松尾会長からは、20～30年後社会のあり方が懸念されるが、幼児期の育ちが人間の根幹に関わると強調しました。そして、幼児教育は即時、成果が見えにくいが人の成長に深く関与する重要な仕事と位置づけ、少子化、人材確保難など厳しい状況下でも、子どもが減る時代だからこそ存在価値は高まると述べられました。

続く来賓あいさつでは、埼玉県知事代理・埼玉県総務部人材政策局長 若松浩二様が大野元裕知事のメッセージを代読され、続いて埼玉県議会副議長 吉良英敏様、さいたま市長 清水勇人様からご祝辞を賜りました。

その後、埼玉県総務部学事課長 水書 潤様の乾杯のご発声に続き、賛助会員（サポーター）が紹介され、和やかな充実した場となりました。

副会長・外部理事・専務理事紹介

南部副会長
橋本 義
（片柳幼稚園）

東部副会長
竹村 厚子
（大袋幼稚園）

北部副会長
若山 清和
（森の詩幼稚園）

西部副会長
中森 茂治
（志木なかもり幼稚園）

外部理事
上木雄二

専務理事
千代田 正美
（神戸幼稚園）

新採研 第1回～第3回

令和８年度新規採用教員研修で、知識やスキルを高めています。

第１回新規採用教員研修は、４月３日（金）、埼玉会館で行われました。午前の開講式では、埼玉県総務部学事課長水書潤様、全埼玉私立幼稚園連合会松尾 創会長から352名の受講生に温かい激励のことばをいただきました。その後、講義で「私立幼稚園の現状と期待される教師像」、「幼稚園教員としての心構え」、「人権教育の現状と課題」「幼稚園教育の基本と指導の特質」について学び、有意義な研修になりました。

第２回目は、５月23日（土）レイボックホールおおみやで、「安全管理とその指導」「教育相談の進め方」「短期の指導計画と一日の保育の展開」「教員のためのメンタルヘルス」の講義が行われました。

第３回目は、６月13日（土）と６月20日（土）に各ブロックごとに開催されました。午前は、事前に園内研修での指導事項や自己評価をまとめた日案を基に班ごとに協議しました。午後も班の中で、課題に添ってこれまでの保育を振り返り、他の先生方と保育の喜びや不安を共有し、新たな発見や前向きな自分になれる貴重な研修となりました。

常置委員会・特別委員会 委員長紹介

総　務
鈴木 甚一
（あさか台幼稚園）

教育研究
関山 典央
（杉の子幼稚園）

人　材
島田 久美子
（吹上中央幼稚園）

政　策
横瀬 敏也
（かみひろや幼稚園）

広　報
川上 禎尚
（大沢幼稚園）

出　版
稲田 英明
（原市文化認定こども園）

新制度
浅沼 宏之
（ひなぎく幼稚園）

次世代
大熊 芳彦
（愛隣幼稚園）

第39回　全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修埼玉大会のお知らせ

令和８年７月30日（木）・31日（金）の二日間にわたり、大宮ソニックシティにて第39回全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修が開催されます。

多くの皆様にお申し込みいただき、参加申し込みは1,700名を超えました。参加いただく皆様にとって有意義な学びの機会となるよう、実行委員を中心に準備を進めています。一人ひとりの心に残る研修となるよう運営者一同、精一杯取り組んでまいります。

大会テーマ

咲いたまなび
咲いたまごころ
～子どもの主体性を育む保育環境づくり～

■専用ホームページ

https://zensaitama.youchien.ed.jp/

開催概要や会場のご案内、各フォーラムの詳細情報・問題提起文等、研修に必要な情報を掲載いたします。

随時更新しますので、参加に向けた準備にぜひお役立てください。

■２日目の研修内容

各担当県による８つの一般フォーラムと、埼玉県が担当する９つの特別フォーラムの計17フォーラムを開催します。保育現場ですぐに活かせる実践的な内容から、組織運営を担うリーダーのためのマネジメント研修まで、幅広いテーマを取りそろえています。それぞれの立場や課題に応じた学びを深めていただける機会となることを願っています。

学校法人 石嶺学園

幼稚園めぐり

美原幼稚園

所沢市

街路樹が整然と並び、吸いこまれそうな真っすぐな道の両端には公園が点在し、街は空が広く見えました。住宅街の一角を曲がるとそこが幼稚園です。

Q：ホールから元気な子どもたちの声が聞こえてきますね。

A：今日は自由参加の「チャレンジプレイ」、おやつを持ってきて17時まで遊ぼうの日です。毎回サッカーや昔遊びなどのトピックがあります。今回は、理事長が子どもたちとすもうをとっています。

Q：子どもひとりひとりが目標を持ち、達成すると「がんばり賞」の賞状がもらえるという取り組みをなさっているとのことですが、どんな内容なのですか。

A：子どもが見てわかりやすい目標を設定しています。例えばフープを40秒回せるとか、一輪車に乗れるようになるとか、ぴかぴかどろだんごを作るなどです。

Q：子どもたちは、園長先生から渡される賞状を目標にがんばるでしょうね。

A：他の誰かと競うのではなく、「友だちのがんばる姿も応援しよう。」を伝えています。4歳は5歳を見て憧れ、続々と練習をはじめ、5歳は4歳に優しく手ほどきをする様子が随所に見受けられます。

Q：この取り組みはいつ頃から始まったのですか。

A：祖父が小学校教員をしていて、幼児教育の大切さを感じ、父へ自分へと受け継がれています。

Q：緑が多く感じられ、いい場所ですね。

A：近くには航空公園もあり、度々遠足や園外保育に出かけます。ライオンズ球場も近く、昨年は試合のある午前中に招待されて、野球体験をして遊びました。

Q：子どもたちの未来に向けて、メッセージをお願いいたします。

A：何事にも挑戦する、最後まで諦めない気持ちを大切にしてほしい。いつでも先生たちはみなさんの味方です。

園長　石嶺雄大先生

幼稚園アルバム

（一社）さいたま市私立幼稚園協会未来予想図Ⅱ

枕元で鳴る目覚まし時計を手探りで止めた後、眠い目をこすりながら私は日付を確認した。2050年３月20日朝６：00。今日は卒園式だ。これから私は自園の卒園児200名を送り出さねばならない。

私は園までの道のりをゆっくりと歩きながら卒園式をシミュレーションした。ここ数年、200名の卒園児は横ばいであり、少なくない人数だが一人ひとりに丁寧に卒園証書を手渡すことにも慣れてきた。卒園児が20人ほどで、あっという間に卒園証書授与が終わっていた四半世紀前が懐かしくさえある。思えばあの頃がわが園のターニングポイントだった。

2020年代半ば、日本は少子化に喘ぎ、その煽りをどこよりも真っ先に受けたのが幼稚園だった。それ以前から始まっていた少子化や女性の社会進出は、当時の幼稚園の舵取りを困難にさせた。ある園は認定こども園に移行し、ある園は預かり保育を充実させて子どもたちの引き留めに躍起になっていた。

しかしそんな中にあってさいたま市私立幼稚園協会の会員園は違った。100年以上の歴史を有する幼児教育を大切にし、安易に園児獲得競争に参加することはしなかったのだ。確かに当時は皆、園児減で経営難に苦しんだが幼児教育こそが日本を救うことを信じて、耐えた。耐えながら実直に子どもたちのための保育に取り組み続けた。

風向きが変わった契機は、当時の政権が消費税を廃止したことだった。財務省をはじめとするさまざまな抵抗を受けながらもその逆風を乗り切ったことは、その後の日本の成長を著しく後押しした。国民の所得が増え、生活に少しずつ余裕と笑顔が戻ってきた。経済的な問題で子どもを産みたくても産めなかった夫婦も安心して出産・子育てのできる環境も整ってきた。もう「失われた30年」を口にする者はいなくなっていた。

一方、幼稚園や認定こども園にとって最大の朗報となったのは、少子化に歯止めがかかったことよりも、生活に余裕ができたことにより人々が幼児教育の重要性に気づき始め、幼稚園に子どもが戻り始めたことだった。人々が、非認知能力の重要性、子どもにとっての遊びの意義、子どもの愛着問題など、小学校以降の学習とは異なる幼児教育が人生の基盤を形成することを認識したことにより、元々民度の高い日本人の人間性と相まってその後の日本の右肩上がりの成長を支えてきたことは間違いない。

ようやく園が見えてきた。本園を卒園していく子どもたちも近い将来、好循環に入ったこの日本をさらなる成長に導いてくれることだろう。さて、これからの日本を支える宝を小学校に送り出すとするか。

子どもたちの笑い声が聞こえてきて私のまどろみの時間は奪われた。どうやら私は園長室でうとうとと昼寝をしてしまったようだ。昨日遅くまで仕事をしていた疲れが出たか。上着を羽織って園長室を出ると、園庭では子どもたちが私を待ってくれていた。さいたま市私立幼稚園協会の未来は明るい。

慶弔

慶事

4．29　旭日小綬章
しいのみ幼稚園(狭山市)
本木　茂 理事長

4．29　瑞宝小綬章
(公社)全埼玉私立幼稚園連合会
倉上　伸夫 監事

4．29　瑞宝双光章
幼保連携型認定こども園
谷津幼稚園(富士見市)
萩原　栄 理事長・園長

弔事

3・6　認定こども園
長瀞幼稚園(長瀞町)
新井　英雄 前理事長逝去

編集後記

令和６年度から広報委員会13名のメンバーで「ぜんさいしよう」を７号お届けしました。

子どもたちの素敵な笑顔から始まる広報誌に今まで以上に興味を持って読んでいますという声に励まされて編集してきました。令和８年度からは新しいメンバーで、さらに未来にむかう「ぜんさいしよう」をご期待ください。